



福王寺だより

いよいよコロナの声も遠くなり、各地で様々なイベントが行われ、人が行き交うことなどなんだか嬉しくあります。様々な社会変化の中で、いろんなことが機械で出来てしまうに関わらず、これだけ人と会うことを大切に思っているのだと感じる今日この頃です。

行基菩薩

さて、皆様のお手元に五年後の福王寺百周年の事業計画を発送いたしました。寄付ということで、目標金額もありご心配をされている方も多くいらつしやるのではないかと思います、それぞれの出来る範囲でのご協力をお願い申し上げます。

古来より寺院ではたくさんの方の寄付行為が

されてきました。なかでも有名なのは奈良の大仏建立を請け負った「行基菩薩」が有名なのではないのでしょうか。

飛鳥時代から奈良時代にかけて、民衆へ仏教を直接布教することを禁止していた当時、その禁を破って行基は集団を形成し、近畿を中心に民衆や豪族など階層を問わず広く人々に仏教を説いた方です。

併せて困窮者の救済や社会事業を指導し、布施屋九か所、道場や寺院を四十九、溜池十五窪、溝と堀九筋、架橋六所を各地に整備しました。大変なご苦勞であったと思います。

その功績を認めた天皇は、東大寺の大仏の建立を行基に依頼します。志半ばにして行基は亡くなってしまいましたが、大仏は完成し、千年過ぎた今でもたくさんの方がお参りに伺いますし、後の世の人々の祈りのシンボルとなっております。

福王寺も東大寺とはいきませんが、たく

さんの人が祈り、支えてここにあります。

私が子供の頃から随分変わりましたが、庭も綺麗になり、本堂も建て替えられ、誰がきても気持ちの良い境内になっています。

これも皆様のお陰、また死者たち、ご先祖様のお陰であります。

この度百年を迎えるにあたり、こうした先祖様の恩に報いるために、本堂の大きさにふさわしい本尊を迎え、私達も、亡き人たちも、そしてこれからの子供たちがより一層の幸せであることを祈り百年の記念としていきたいと思えます。修繕や基金も福王寺の存続のために必要なことです。

物価も上がり、年金の生活、子育てなど大変な方も多くあると思いますが、この百年という仏縁を出来る範囲で応援して頂ければ



東大寺大仏殿

幸いです。

また事業遂行のためにお気持ちのある方は平均目標金額以上のご寄付をお願いもします。

南無大師遍照金剛

行事のご案内

「下座行」

七月十八日

午前八時三十分

於 津別町福王寺

「地藏盆（万灯会）」

七月二十四日

午後五時集合・六時よりお参り

先祖供養・水子供養・人形供養

於 津別町福王寺

「盂蘭盆会」

八月十五日 十時 北見別院
八月十六日 十時 津別福王寺

寺院報告

婦人部花壇作り

いつもありがとうございます。



成年部 青年部 下座行
今年度は青年部も手伝ってくれました！
みなで境内を掃除しましよ
う！

弘法大師
御誕生千二百五十年記念参拝

